

豊かな自然に
ひと・もの・まちが輝く
健康都市

A B A S H I R I

網走



網走市へ進出意向のある企業の要望に沿うよう、
市有地や民有地、建物等に関する情報収集を行い、
ニーズに応じた用地や建物情報の提供を行います。



Notoro industrielle

能取湖に面した自然あふれた環境



分譲価格 3,500円／㎡(標準価格)

1件2,000㎡以上の買取にあたっては、段階的に価格の低減措置(最大23%)があります

交通	JR：網走駅まで7 k m
	道路：国道238号線まで4 k m
	空港：女満別空港まで18 k m
	港湾：重要港湾網走港まで9 k m
	漁港：所在地の能取漁港利用可能
街路	舗装済（幅員16m～22m）
用水	網走市上水道
排水	網走市共同排水処理施設により排水処理
電力	網走変電所（36,000kVA）まで8 k m、引込可能電力（高圧線 6.6kV）
インターネット	光回線 「NTT東日本 メガデータネット」 が利用可能

呼人工業団地

Yobito industrielle

交通の便も良く、自然環境に恵まれた立地条件



分譲価格 6,000円／m²(平均価格)

交通	JR：呼人駅まで1.5km、網走駅まで9km
	道路：国道39号線に隣接
	空港：女満別空港まで9km
	港湾：重要港湾網走港まで12km
街路	舗装済（幅員16m～22m）
用水・排水	公共上下水道使用可能
電力	引込可能電力 高圧線 6.6KV
インターネット	光回線「NTT東日本 メガデータネット」が利用可能

Port Abashiri district

国内外への流通拠点として重要な役割を果たす港湾エリア

分譲価格 18,900円／㎡(標準価格)

1件1,000㎡以上の買受にあたっては、段階的に価格の低減措置があります

交通	JR：網走駅まで3.6km 道路：国道244号線に隣接 空港：女満別空港まで20km
容積率	200%
建ぺい率	60%
用水・排水	公共上下水道使用可能
電力	引込可能電力(高圧線)については、北海道電力(株)と要相談
インターネット	光回線「NTT東日本 メガデータネット」が利用可能
主な用途	店舗等用地、事務所等用地、工事・倉庫等の用地 ※都市計画区域に係る用途および臨港地区に係る用途の規制があります。 使用の目的により区画の調整を行う場合があります。

網走市の主な立地企業

Abashiri location companies

新たなビジネスフィールドで網走市に進出した企業



金印わさび株式会社



NGKオホーツク株式会社

企業名	立地年月	業種・営業内容
金印わさび株式会社	昭和43年 9月	香辛料の製造
日本ホワイトファーム株式会社	昭和61年 1月	食肉、ファーム&ブロイラー育成処理加工
NGKオホーツク株式会社	平成 2年10月 令和 2年 4月(増設)	「自動車排ガス浄化用セラミックス」の製造用治具製造
株式会社デンソー網走テストセンター	平成13年11月	自動車走行テストコース
株式会社CTI情報センター	平成22年 3月	コールセンター
株式会社WIND-SMILE	平成30年10月	バイオマス発電所

Preferential treatment

網走市企業立地促進条例

**網走市では、本市産業の振興と雇用機会の創出を図るため、
新たな事業場等の新設や増設、新規雇用等について支援します。**



Assistance

①事業場等の新增設に係わる投資額に対する助成

＜対象要件＞

●投資額が2,500万円以上

●雇用増が5人以上

☆投資額の2～5%の額を助成します。※限度額3,000万円

②工場等の新設、増設に係わる固定資産税相当額助成

＜対象要件＞

●投資額が2,500万円以上

●雇用増が5人以上

☆対象となる土地、建物、償却資産にかかわる固定資産税額相当額を3年間助成します。

※限度額3,000万円／年

③工場等の新增設に係わる雇用増に対する助成

＜対象要件＞

●投資額が2,500万円以上

●雇用増が5人以上

☆①の対象施設、要件において雇用増一人あたり30万円の助成をします。

※限度額3,000万円

Assistance

④コールセンターの立地に係わる運営費および雇用増に対する助成

＜対象要件＞

- 投資額が2,500万円以上
- 雇用増が15人以上

☆要件において雇用増一人あたり30万円の助成をします。

※限度額3,000万円

☆事業施設の賃借料、通信回線使用料の1／2相当額を3年間助成します。

※限度額500万円／年

Assistance

地域特産品の創出を図り、当市産業の活性化と
雇用の創出を図るため、市内の中小企業者等が行う
新製品開発事業に対して支援しています。

●対象事業

- ①新製品・新技術開発に係る調査・研究事業、人材育成事業、基礎研究・施策研究事業
- ②商品化に係る企画開発事業、マーケティング事業

●補助額

※補助対象経費の2分の1

※補助限度額

- ①新製品・新技術事業 200万円
- ②商品化事業 100万円

産学官の連携

partnership

産学官連携による研究や取組が活発に行われています。

国や北海道の主要機関が設置されるなど、オホーツク圏行政の中心地となっています。

また、東京農業大学生物産業学部(4学科 学生数 約1,500人)があり、産学官の研究、取組が活発に行なわれています。

卒業後は市内に就職する学生も多く、貴重な人材となっています。

【市内および近隣の研究機関】



東京農業大学オホーツクキャンパス(生物産業学部)



東京農業大学オホーツク臨海研究センター



網走水産試験場



網走市水産科学センター



オホーツク圏地域食品加工技術センター



北見工業大学